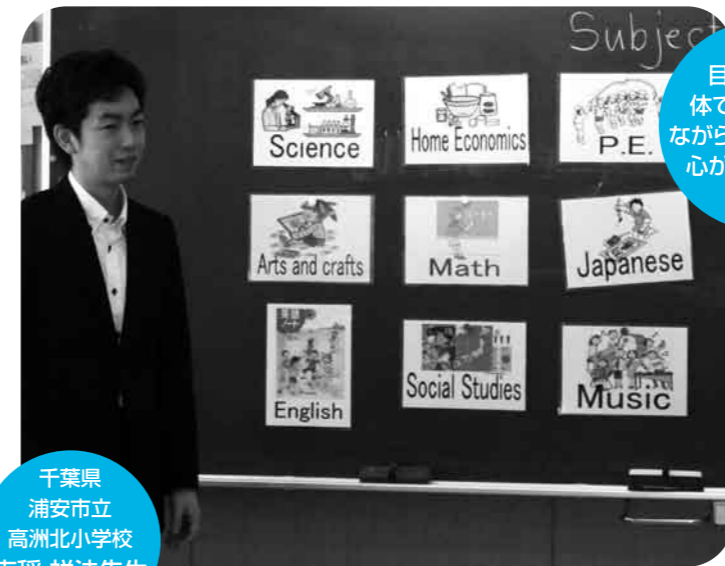


# Hello Kids!

小学校英語  
情報誌

2011  
Vol.5-2

特集：教材の効果的利用—その1



目で、耳で、  
体で英語を感じ  
ながら楽しむ授業を  
心がけています。



自分たちで  
作った時間割を  
紹介し合ったり、  
教師の質問に答え  
たりしました。

千葉県  
浦安市立  
高洲北小学校  
束稲 祥法先生

単語の  
意味が連想  
しやすいように、  
実際に使っている  
教科書を教材に  
しました。



**巻頭言** 「評価規準」を意識した教材の効果的な利用  
高橋美由紀(愛知教育大学大学院教授).....2

**1年生から英語に親しむことのよさ**  
渡部裕子(福島県郡山市立金透小学校教諭).....3

**実践報告** チャンツをもっと生かそう! ~『英語ノート』を使って~  
田中史恵(富山県滑川市立東加積小学校教諭).....4

『英語ノート』を私たちに  
坂田美佳(徳島県鳴門市立鳴門東小学校教諭).....6

**Say "Hello" with Alison!**  
根本アリソン(福島県双葉郡大熊町 外国人英語講師).....8

**研究会紹介** 福岡市小学校英語活動研究会.....8

開隆堂

## 「評価規準」を意識した教材の効果的な利用

愛知教育大学大学院教授 高橋 美由紀



現在、多くの小学校では「評価」のあり方が課題と なっています。文科省から2010年5月に提示された 「評価の観点等及びその趣旨」をもとにして、評価に適 した教材について具体的に紹介したいと思います。

外国語活動では、(1)言語や文化に関する気付き、(2) 外国語への慣れ親しみ、(3)コミュニケーションへの関 心・意欲・態度の3点について評価することが求められ ています。そして、その評価の対象として観点ごとに、 (1)では、児童が「日本語との違い、日本と外国の生活、 習慣、行事などの違いに気づいているか」、(2)では、 「活動で用いる表現などを聞いたり話したりすることを 通して、その表現や音声に慣れ親しんでいるか」、(3) では、「コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコ ミュニケーションを図ろうとしているか、コミュニケー ションを継続する努力をしているか」が挙げられます。 例えば、これら3点の評価を、一人の子ども(A)が国 際電話で世界の友だちと話をしている場面設定に基づ いた教材を利用して行います。(下図参照)



(開隆堂出版 Sunshine Kids Book 2 pp.14~15より)

授業を受けている児童は、世界地図に描かれている 影絵の人物を見ながら、Aと電話の相手との電話での やりとりを聴きます。そして、電話の相手の名前や住

んでいる国、現地時間、相手が何をしているのかなど について、学習した英語の表現を使ってコミュニケー ション活動を行うことができます。

評価の対象(1)については、電話のかけ方の違い (回もしもし、美香です。Hello, this is Mika.)や、 時間(時差、サマータイム)に対する気づきを、「振り返 りカード」や児童の発言などで評価できます。また(2) については、電話や時間で用いる表現“What time is it now?” “It’s eight in the evening.” や、日常生活 で使用する動作の表現“What are you doing now?” “I’m watching TV.”などに慣れ親しんでい るかを、テキストの絵を使用して「話された内容を理解 しているかどうか」の確認ができます。さらに、「国際電 話をかけて世界の友だちと話そう」という疑似体験の活 動を通して、「学習した表現を実際に使用しているか」を チェックすることもできます。電話での会話では、児童 が背中合わせで話をするなど、「コミュニケーション ギャップ」が生じる場面を設定するとよいでしょう。評価 対象の(3)についても、この活動に参加しているかどう か、コミュニケーションを継続させるために工夫してい るかなどを「行動観察」を通して評価することができます。

必修化される外国語活動での教材は、コミュニケー ション能力の素地を養うことは言うまでもありませんが、 さらに、教師にとって評価が容易にでき、児童にとっ て自己評価ができるような教材が望ましいでしょう。

<引用文献>  
高橋美由紀ほか(2002) Sunshine Kids Book 2 開隆堂出版  
<参考文献>  
松浦伸和(2010)「学力評価のあり方」高橋美由紀(編著)『これからの小学校英 語教育の発展』アプリコット

## 1年生から英語に親しむことのよさ

福島県郡山市立金透小学校 教諭 渡部 裕子



### 1. 郡山市の取り組み

郡山市の小学校では、文部科学省から教育課程特例校 の承認を受け、1年生から6年生までの全学年で「英語表現 科」という教科で英語教育に取り組んでいます。「英語表現 科」の学習は、郡山市教育委員会で作成した「E-BOOK」と いう教材を活用し、「聞くこと」「話すこと」を中心とした英語 でのコミュニケーション活動を行っています。

### 2. 教材を工夫した1年生での実践

私は現在1年生の担任をしています。「英語表現科」の授 業では、無理な発話を求めず、歌やゲーム活動、絵本の 読み聞かせなど、「聞くこと」を重視した活動を中心に行っ てきました。また、子どもたちが自然に英語に親しむことが できる教材の開発や活用の工夫にも努めてきました。

「色(Colors)」の学習では、「色あてゲーム」を行いました。 果物や昆虫などの絵カードを白黒でコピーしたものを準備 しました。そして、“What color?”とそれらを子どもたち に提示すると、意欲的に「みどり!」「グリーン!」などと発話す る姿が見られました。白黒のカードを提示したことで、子 どもたちが必然的に「色」に目を向け、これまでの生活経験か らその色を考え、自然に発話することができました。

また、「動物(Animals)」の学習では、「動物あてクイズ」 を行いました。パソコンを活用し、動物の絵カードを塗りつ ぶしてシルエットにしたものや、動物の身体の一部を拡大 したものを準備しました。動物への関心が高い子どもたち が多いので、どんな動物かを楽しく推測し、自然に動物を 表す英語に親しむことができました。これは、『英語ノート 1』のLesson 7「クイズ大会をしよう」にも取り上げられて いますが、1年生でも十分に楽しめる教材でした。

さらに、授業の最後には、必ず絵本の読み聞かせを取り 入れてきました。1年生の子どもたちは読み聞かせが大好

きです。授業で扱った題材に関連する絵本を選び、読み聞 かせる中で、英語がわかるようになった喜びや、くり返さ れる表現の楽しさなどを味わうことができるようにしました。

### 3. 1年生から英語に親しむことのよさ

私は、「英語表現科」の授業を実践する中で、1年生から 英語に親しむことのよさを強く実感しています。

1つ目のよさは、1年生が英語の持つ音やリズムを身体 全体で感じとり、楽しんだり表現したりすることができる年 齢であるということです。子どもたちは聞こえたように発音 し、英語の歌もすぐに覚えて、身体全体で楽しんでいます。 低学年の子どもたちだからこそできることであると感じて います。

2つ目は、相手とのコミュニケーションを図るうえで基本 となる“eye contact”や“smile”を意識して活動すること ができるということです。1年生という発達段階の子どもた ちは、恥ずかしがらずに素直に相手の目を見ながら、笑顔で 活動することができました。このようなコミュニケーションの 姿勢を低学年から意識させ、継続していくことは非常に大切 なことであり、中学年や高学年になったときの豊かなコミュ ニケーション活動にも、つながりを持たせることができます。

3つ目は、子どもたちの「聞く力」と「聞こうとする姿勢」を 育てられたことです。「英語表現科」の時間だけでなく、だれ かが発表しようとする、身体を動かして発表者と“eye contact”をとり、相手の話をしっかり聞こうとする姿勢が 多く見られるようになりました。また、話している英語がわ からなくても、相手の表情やジェスチャーなどから、何を 伝えたいのかを推測し、理解しようとする態度も育ってき ています。

今後も子どもたちの発達段階の特性を生かしながら、楽 しく「英語表現科」の学習を進めていきたいと考えています。

# チャンツをもっと生かそう! ～『英語ノート』を使って～



富山県滑川市立東加積小学校教諭 田中 史恵

## 1. はじめに

外国語活動ではたくさんのアクティビティを次から次へと行ってしまおうと、学習内容や活動に関連性がなくなってしまうがちです。『英語ノート』のすべてのレッスンに位置付けられ、子どもたちに慣れ親しんでほしい基本的な表現が入っているチャンツをもっと生かせないかと考えてみました。

## 2. チャンツのよさ

チャンツには、次に示すようにいろいろなよさがあります。一つのチャンツでもそのよさを生かし、ねらいを変えて変化させることで多様化が可能になります。

### チャンツのよさ

- ①英語学習への心理的なバリアを下げ、興味や関心を持たせることに効果がある。
- ②言葉で説明すると難しくなってしまうことも、口ずさみながら学ぶことができる。
- ③対話、場面設定があり、その特徴を効果的に利用することで、自然な英語の音声に楽しく触れられるだけでなく、記憶の助けになる。
- ④「これが言えたら、他の活動でも言える! できる!」というわかりやすい目標となり、学習のよりどころになる。
- ⑤練習可能なものであり、英語で表現できる喜びを支えるアクティビティとなる。

### よさを生かし、ねらいを変えて活用する

ちょっと ひと工夫!  
『英語ノート 1』Lesson 1  
★Hello Chant★を使っ  
てなりきり自己紹介

ちょっと ひと工夫!  
『英語ノート 2』Lesson 6  
★I want to go to  
Italy! Chant★  
日本バージョンにして、  
行きたい所はどこ?  
したいことは何?  
ワークシートを持って  
インタビュー活動。

- ①ドリル活動として
- ②コミュニケーション活動として
- ③自己表現へとつなげるための活動として

## 3. 意味理解を助けて多様化を繰り返す

### ～チャンツシートの活用～

#### (1)音楽のようにいいねいに導入

ただ「CDを聞いてまねしましょう」では、意味がわからないまま繰り返してしまいがちです。わからないという感覚は高学年の子どもたちにとって、とてもつらいことです。

歌の指導で歌詞カードを使って歌詞の意味を押さえたり、イメージを作りあげたりしていくように、具体物や絵やチャンツシートを活用しながら意味理解を助けたり、場面や状況を作って具体的なイメージを持ってくり返せるように工夫することが大切ではないかと思えます。

#### ●『英語ノート 1』Lesson 5 いろいろな衣装を知ろう

##### ★ Do you have a cap? Chant★

客: Green cap.  
Green cap.  
Do you have  
a green cap?  
店員: No. No. No, I don't.  
I don't have  
a green cap.  
I have a blue cap. \*  
I have a red cap. \*  
I have a yellow cap.\*\*\*  
(\*は手拍子)



#### オリジナル NOバージョン(Green cap)

- ・○の数、×の数などで単語の固まりがわかる。
- ・絵を見て、子どもたちが英語表現の内容を推測することができる。
- ・ゆっくり1フレーズずつ練習するときに絵を指し示すことで、子どもたちが自分でどの表現をしているかがわかる。
- ・お店などの具体的な場面の設定をすることで、客と店員との対話のしかたがわかり、より理解が深まる。
- ・カードを取り外し可能にすることで、単語を変えた別のバージョンでも活用することができる。

#### (2)目指す子どものゴールの姿からチャンツを発展

Lesson 5では、学習の最後に自分たちで考えた洋服カードを買い集めて「○○先生に似合うファッションを作ろう」と投げかけました。しかし、Lesson 5のチャンツにはNOのバージョンしかありません。買いたい洋服を手に入れるにはYESの表現を練習する必要があります。

そこで、ゴールの買い物の場面で使わせたい表現を洗い出し、発展バージョンを作りました。チャンツを少しずつ変化させることで、子どもたちは「これならできるかも」とチャレンジしながらくり返すことができました。

#### ●発展型 YESバージョン

客: Green cap. Green cap.  
Do you have  
a green cap?  
店員: Yes. Yes. Yes, I do.  
I have a green cap.  
Here you are.  
客: Thank you.  
Thank you.  
How much is it?



#### 発展型 YESバージョン(Green cap)

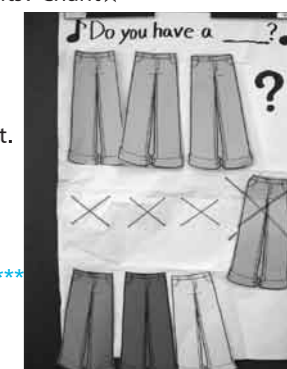
- ・アクティビティのタスクに必要な表現を足し、発展バージョンとして活用した。
- ・動作もつけられるような表現を用いた。
- ・最後はHow much?で終わるよりも、How much is it?のほうがリズムがよくなる。(語尾を強調しすぎないように)

また、チャンツを一度に全部、子どもたちに提示するのではなく、ストップをかけることも時には効果的です。前半のGreen capと後半のOrange pantsに分けて指導することで、子どもたちはOrange pantsについては、どんなふうによえばいいか、どんなチャンツになるのかを自

分たちで予想し考えることもできます。受け身学習になりがちに繰り返しのにおいても、自分でわかった! できた! と感じながら学習できるように工夫できたらいいと思います。

#### ★Do you have orange pants? Chant★

客: Orange pants.  
Orange pants.  
Do you have  
orange pants?  
店員: No. No. No, I don't.  
I don't have  
orange pants.  
I have blue pants. \*  
I have red pants. \*  
I have yellow pants.\*\*\*



#### NOバージョン(Orange pants)

- ・パターンプラクティスの際に活用することができる。
- ・Green capを中心に練習したあとは、この場合はどんなチャンツになるだろうと、子どもたちに考えさせることもできる。

## 4. おわりに

一度覚えてしまうと休み時間でも家でも口ずさんでしまおうチャンツ。時間がたっても口から思わず英語がこぼれる、そんな力を持つチャンツ。そのチャンツがただのくり返しではなく、ただの暗唱でなく、子どもたちにとって意味のある豊かなものにするためには、意味理解を助けて、もっとイメージや具体的な場面と結びつけて、楽しくくり返していくことが必要です。

英語は言葉です。遊びで使うのではなく、本気で、大切に使ってほしいと思います。自分のこと、本当のことを伝えたい気持ちに支えられた英語を楽しく使って、慣れ親しんでほしいと願っています。

# 『英語ノート』を私たちがらしく ～教材の効果的な利用へのファーストステップ～



徳島県鳴門市立鳴門東小学校教諭 坂田 美佳

## 1. はじめに

本校では、平成21年度に文部科学省の「外国語活動における教材の効果的な活用及び評価の在り方等に関する実践研究事業」の指定を受け、外国語活動に学校全体で取り組み始めました。研究課題として、「国際的な視野をもち、進んでコミュニケーションを図ろうとする児童の育成—学級担任が中心となって進める外国語活動の工夫—」を設定し、①教職員の指導力向上のための理論研修や授業実践、②『英語ノート』の効果的な活用方法や指導方法の工夫、③児童の興味・関心等、学習状況の変容の把握を研究の中心に取り組んできました。一連の事業仕分けとの関係で本事業そのものは終わってしまいましたが、徳島県教育委員会・鳴門市教育委員会、鳴門教育大学と連携し、同様の研究課題について継続して実践研究を進めています。先進的な取り組みを行うというよりは、どこの学校でもできる工夫とは何かを考え、学校を挙げて取り組んでいます。

## 2. 教職員の「体験的理解」を促す環境づくり

当然ではありますが、やはり難しいのが5、6年生の担当だけでなく全職員が協力することです。本校では管理職や研究主任などの協力のもと、全職員が授業研究会に参加したり、教材・教具作りに取り組んだりできるようにしています。また、1～4年生の担当も、5、6年生の授業にAT(アシスタントティーチャー)として入れる環境の整備も行っています。実際に授業を体験することで、児童が外国語活動で得る「体験的理解」と同様に、容易に授業展開のイメージをつかむことができ、外国語活動の楽しさを味わうことができます。また、協同で行う教材づくりや授



業づくりも外国語活動の理念や授業の実際を理解するために非常に有効だと言えます。

## 3. 私たちの『英語ノート』へ

『英語ノート』には、さまざまな活動や内容が多く盛り込まれています。前述の全職員での教材・教具づくりでは、教材研究も併せて行うことで『英語ノート』の情報は豊富で素晴らしいという認識も共有されました。しかし、実際に目の前にいる児童と共に授業を行うためには、他教科・領域と同様、『英語ノート』をそのまま使用するのではなく、児童の実態に合わせて教材・教具を作成することが肝要であると言えます。ICTが得意だったり、絵、ダンスや音楽が得意だったり、教職員はさまざまな得意分野を持っています。子どもたちの興味・関心も多様で、こうした個性を生かしていくことが『英語ノート』の効果的な活用の基本であると考えています。

## 4. 実践事例：Lesson 5「いろいろな衣装を知ろう」

### ～2人の先生に似合うファッションを考えよう～

本単元では、①世界の衣装に興味を持つ、②買い物やファッションショーを通して、友だちとの言葉のやりとりを楽しむ、③英語を使って好きな衣装を紹介する、という3つの目標を挙げました。単元計画は右図の通りです。

このレッスンでは、児童の興味・関心を高めるために、さまざまな工夫をしました。AT(アシスタントティーチャー)の得意なコンピューターを使ってクイズの作成をしたり(第1時)、HRTおよびATの2人に似合うファッションを考えながら買い物をして、実際にそれを形にするところまで発展させ(第3時)、最終時には、児童のファッ



## <単元計画>

時	指導形態・目標(◎)と主な活動
1	HRTとAT(アシスタントティーチャー：他学年の担任) ◎世界のさまざまな民族衣装に興味関心を持つとともに、色の名前や洋服の名前に親しむ。 ①ICT教材を使い、世界の衣装に関するクイズをする ②衣服の言い方を知り、カード交換ゲームをする ③「人物探しカルタ」をする ④“Who am I?”ゲームをする(実際の人物で)
2	HRTとALT ◎衣服をほめる言い方や買い物に必要な表現に親しみ、次時への意欲を持つ。 ①ALTの国の衣服についての話を聞く ②Let's Listen(pp.30-31)(ALTと) ③教師のデモンストレーションから買い物場面の表現、ほめ言葉を知る ④2グループに分かれて、買い物ゲームをする
3	HRTとAT ◎目的を考えてほしいものを言ったり、相手が気持ちよく買い物ができるような声かけをしたりして、買い物ごっこを楽しむ。 ①感想を表す表現の復習をする ②2人の先生に似合うファッションを考えて買い物をする(2チームに分かれて実施) ③2人の先生から感想を聞く ④次時の活動(ファッションショー)への意欲を持つ
4	HRTとALT ◎自分のお気に入りの洋服の説明をしたり、友だちの洋服についての感想を言ったりしてファッションショーを楽しむ。 ①自分の着た洋服を紹介する表現を、ALTに教えてもらいながら発表する ②発表会(ファッションショー) ③お互いの洋服について感想を述べ合う

ションへの興味を活用したファッションショーを行いました(第4時)。単元計画からもおわかりいただけると思いますが、『英語ノート』と大きく活動の流れが異なっているわけではありません。しかし、それぞれの活動に関わる教職員や児童の実態に合わせて、鳴門東小学校バージョンのLesson 5が作成できたと思います。

## 5. だれにでもできる=私たちだからできる

本授業のように『英語ノート』を「私たちがらしく」アレンジしていくことで、児童の興味・関心が高まってきているとともに、教職員の外国語活動への理解が深まっていると実感しています。また、外国語活動で大切なコミュニケーション活動の場を多く設定した授業内容や展開の工夫により、児童が友だちや周囲の人との関わりを楽しむ姿が見られるようになってきたことは、大きな成果だと言えます。

『英語ノート』は、外国語活動の基本的かつ具体的な指針を与えてくれます。しかし、全ての学校向けに作られているため、少しスパイスが必要だと感じています。それは、私たち教職員や児童の身の丈に合った「私たちがらしく」アレンジしていくことです。だれにでもできる外国語活動とは、『英語ノート』をそのまま使うことではなく、「私たちがらしく」「私たちだから」できる活動を作っていくことではないかと思います。





# Say "Hello" with 16 Alison!

根本 アリソン

イギリス出身・1989年より福島県で英語講師として活躍中

## ■『英語ノート』で楽しい聞きとり指導のポイント

5年生の児童はまだ英語の聞きとり活動に慣れていません。さまざまなヒントやテクニックを使って、聞き上手な児童を育てていきましょう。前回に続いて『英語ノート1』Lesson 4 (p.24)を例にとり、聞きとり指導のポイントを解説します。CDを聞く前には、児童の興味を引き出すために、「バナナが好きな人はだれだと思いますか?」などと質問して、児童の緊張を和らげることが大切です。

### While-Listening Techniques(聞きとり中の支援)

ここでは5人の子どもが自己紹介をしています。話す順番はテキストの絵の順番とは違いますので、一回目のリスニング(Gist Listening—概要の聞きとり)では名前を聞きとって絵を指さすだけでもいいでしょう。二回目のリスニング(Listening for Detail—詳細の聞きとり)で、Let's Listen本来の、線を結ぶ活動をさせると、簡単に感じる児童が多いようです。また、こまめにCDを止めて間を置いてあげると、児童に聞く余裕が出てきます。その自信を次へのステップにつなぎたいですね。

(福島県双葉郡大熊町 外国人英語講師)

## 研究会紹介

### 福岡市小学校 英語活動研究会

本会は、平成18年度に発足し、福岡市の自主研究団体として活動しています。本会の特色は、小学校だけでなく中学校の先生方も会員であり、さらに大学の先生方や教育センターの先生方にも特別会員やオブザーバーとして参加していただいている点です。

定例会は、講話や実践報告および教材研究を中心に据え、ALTやGT\*との英会話レッスン、全国大会や海外視察の報告会など幅広い研修を行っています。

さらに、福岡市研究助成団体の「外国語活動研究委員会」と連携して講師を招いた合同研修会を開催し、全市の先生方が共に学べる研修の機会も提供しています。

これからも、本会の活動を通じて、福岡市の外国語活動の推進に取り組んでまいります。

福岡市小学校英語活動研究会会長 中牟田 義裕  
(福岡市立金山小学校校長)

\*GT: Guest Teacher

### 新刊

文部科学省『英語ノート1』対応DVD

#### アニメで楽しく英語活動 1

文部科学省『英語ノート2』対応DVD

#### アニメで楽しく英語活動 2

各巻DVD1枚(約50~60分) 手引書付き  
定価 10,000円(本体9,524円)

単語チャッツやクイズ、歌、会話アニメなど、『英語ノート』の単語や英語表現が練習できるDVD教材です。映像を見ながらリピートしたり、クイズに答えたりできる楽しいアクティビティを『英語ノート』のレッスンごとに収録しています。



文部科学省『英語ノート1』完全準拠

#### ゆっくり音声 CD 1

文部科学省『英語ノート2』完全準拠

#### ゆっくり音声 CD 2

各巻CD2枚組  
定価 3,150円(本体3,000円)



『英語ノート』音声CDの収録内容に完全準拠。読みの速度をゆっくりにして、授業で使いやすいようになっています。歌は文科省版と同じ速さと、ややゆっくりの2種類を収録。カラオケも付いています。

### 小学校英語情報誌

## Hello, Kids!

Vol.5-2(通巻16号)

定価120円(本体114円)

送料80円

平成23年3月10日印刷 平成23年3月15日発行(年4回発行) 編集兼発行人 山岸 忠雄

印刷所 株式会社興陽社 〒113-0024 東京都文京区西片1-17-8

発行所 開隆堂出版株式会社 〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1

☎03(5684)6121(営業)、(5684)6118(販売)、(5684)6115(編集) <http://www.kairyudo.co.jp/>



## 開隆堂出版株式会社

〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1 ☎03(5684)6111

北海道支社 〒060-0061 札幌市中央区南一条西6-11 札幌北辰ビル8階 ☎011(231)0403  
東北支社 〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町1-11-1 萩野町Mビル2階 ☎022(782)8511  
名古屋支社 〒464-0802 名古屋市千種区星が丘元町14-4 星ヶ丘プラザビル6階 ☎052(789)1741  
大阪支社 〒550-0013 大阪市西区新町2-10-16 ☎06(6531)5782  
九州支社 〒810-0075 福岡市中央区港2-1-5 F Y Cビル3階 ☎092(733)0174